

岩舟町立静和小ふれあい館「学校支援ボランティア」

【活動の概要】

余裕教室を拠点としてボランティア・PTA・地域住民が活動し、それぞれが交流する中で学校の教育的効果を高めている。特に「ふれあい館」は地域の60歳以上の方々のふれあいの場として主に利用されるものであるが、そこに集う方々は、子どもたちとの休み時間の遊び、生活や総合的な学習の時間への支援など学習支援の面で活躍されている。さらに、植木・垣根の剪定など環境整備支援の面でも活躍されている。また、PTA活動や地域事業とも連携しそれぞれの活動内容を深め合っている。

【始めるきっかけ】

岩舟町立静和小学校では、児童数の減少から余裕教室が増えてきていた。そこで、この余裕教室を拠点とした学校と地域との交流を促進する様々な取組を行ってきた。そうした余裕教室を利用した「ふれあい館」は「生きがい活動支援事業」として2002年に整備されたものである。畳敷きの落ち着いた環境の中、多くの地域住民の利用があった。

学校にとっては、2001年度から総合的な学習の時間が創設されるなど、地域の教育力がますます必要となってきた時期であった。そこで、「ふれあい館」に集う方々に「むかしの遊びや暮らしの様子」を教えていただいたりするなど学習支援を依頼するようになった。

【活動の内容】

現在は、学習の時間に直接的に関わることばかりでなく、支援の範囲が広がってきている。

児童たちとの交流は、ゲートボール等でのスポーツ交流や焼き芋大会等の行事での交流が行われている。また、環境面への支援として植木・垣根の剪定や除草などにも活動が広がってきた。

さらに、静和小学校では余裕教室を活用してPTA活動も充実させてきている。このような他の余裕教室での活動と連携し、それぞれの活動を深め合うようにもなってきた。例えば、PTA行事の「しめ縄づくり」においては「ふれあい館」の方々の熟練の技を生かして素晴らしいものが作成できた。

また、「ふれあい館」の方々のコーディネートをもとに敬老会へ静和小学校の児童が多く参加したり、運動会には敬老会の方々が多く参加したりするなど、地域と学校を結びつける役割も担っている。



＜学習支援活動の様子＞

【成果と課題】

成果としては、学習支援から環境支援、PTAとの連携や地域とのコーディネートなど活動が幅広く、深まりのあるものになってきた。そして、余裕教室が、空き教室ではなく地域の教育力の拠点になってきた。

また、「ふれあい館」に集う方々も、支援することに対して生きがいを感じ、学校側にとっても支援する方にとっても実りある活動になってきた。

課題としては、余裕教室を活用した様々な活動全体をコーディネートできるような人材の確保である。このような人材が確保できれば、さらに充実した活動が大いに期待できる。

★ ここが特徴！

- ☆ 「生きがい活動支援事業」制度を活用して余裕教室の整備・充実ができた。
- ☆ 余裕教室が、空き教室ではなく地域の教育力の拠点になっている。
- ☆ 「ふれあい館」に集う方々も、学校を支援することに対して生きがいを感じている。
- ☆ 余裕教室を活用する他の活動（PTA活動等）と連携し、それぞれの活動を深め合っている。
- ☆ 学校内ばかりでなく地域と学校を結ぶコーディネートの役割も担っている。